





住民の絆で回を重ねた文化祭  
今年も力作作創り

翌日の10月12日(日)は、御射神社春宮例祭の本祭の日。朝から秋晴れの中、9時の花火の合図で始まりました。岡宮神社の宮司による神事が行われ、小学校3年生による「豊栄の舞」が奉納されました。その後、白装束の氏子衆が「押鉢(おしほこ)」と呼ばれる屋根の上にすすきが飾られた神輿を担ぎ、社を3周した後浅間の町を一日かけて回りました。「わっしょい!!わっしょい!!」のかけ声が聞こえ、沿道では五穀豊穣・家の繁栄を

守護するすすきが配られました。夕方には、神社に戻り例祭は終了しました。

宵祭りである「松明祭り」。翌日の10月12日(日)は、御射神社春宮例祭の本祭の日。朝から秋晴れの中、9時の花火の合図で始まりました。岡宮神社の宮司による神事が行われ、小学校3年生による「豊栄の舞」が奉納されました。その後、白装束の氏子衆が「押鉢(おしほこ)」と呼ばれる屋根の上にすすきが飾られた神輿を担ぎ、社を3周した後浅間の町を一日かけて回りました。「わっしょい!!わっしょい!!」のかけ声が聞こえ、沿道では五穀豊積・家の繁栄を

守護するすすきが配られました。夕方には、神社に戻り例祭は終了しました。

(大村 T)



10月26日(日) 大村町会文化祭が大村公民館にて開催されました。今年で42年目を迎えるこの文化祭は、地域の皆さんのが集い交流を深める恒例行事です。

園マレットゴルフは、天候により残念ながら中止となりましたが、代替イベントとしてビンゴ大会が行われました。会場には多くの方が集まり、番号が呼ばれるたびに歓声が上がるなど、終始にぎやかになりました。

景品を手にした参加者の笑顔が印象的で、世代を超えた交流の場となりました。

午後からは発表会が開催され、地域の皆さんによる楽器の演奏やマジックショーが披露されました。演奏では心地よい音色が会場に響き渡り、マジックショーでは驚きと笑いが広がる楽しい時間となりました。出演者と観客が一体となって盛り上がり、地域のつながりを感じる温かい催しとなりました。

本郷支所にある「英魂碑」が立てられており、こんなところに慰霊祭に参加して



舞子の田辺さんと滝沢さん



社を周る「押鉢」

終わった後は、「楽ししかった」とのこと。関係者によると午後7時からけなげに頑張つたと言います。神事の前に思ひを聞いた時は、緊張していましたが、言葉が少なかつたのですが、

厳かな雰囲気の中、一生懸命に舞う姿にとても感動しました。午後7時からけなげに頑張つたと言います。神事の前に思ひを聞いた時は、緊張していましたが、言葉が少なかつたのですが、

終わった後は、「楽ししかった」とのこと。関係者によると午後7時からけなげに頑張つたと言います。神事の前に思ひを聞いた時は、緊張していましたが、言葉が少なかつたのですが、



平和への想いを新たにする参加者

本郷支所にある「英魂碑」が立てられており、こんなところに慰霊祭に参加して

靈碑があつたのかと今回の取材で知りました。

10月15日(水)に慰霊祭「本郷地区戦没者並びに全国殉国学徒合同慰霊祭」が執り行われました。会の中では「二度と過ちを繰り返さないよう」。現在もイスラエルやウクライナで戦争が続いている間に、挨拶がありました。

慰霊祭終了後、参加された85歳になる遺族の方とお話をしました。戦争で祖父と父親を亡くし、母と子どもが残されました。さらにその後土地をだまし取られ、貧しい生活をしてきたそうです。

今なおニュースに映し出される廃墟となつた街や命を落とす多くの人々。無意味な戦争を二度と繰り返してはならないと改めて感じます。

（南浅間 N）

10月15日(水)に慰霊祭「本郷地区戦没者並びに全国殉国学徒合同慰霊祭」が執り行われました。会の中では「二度と過ちを繰り返さないよう」。現在もイスラエルやウクライナで戦争が続いている間に、挨拶がありました。

慰霊祭終了後、参加された85歳になる遺族の方とお話をしました。戦争で祖父と父親を亡くし、母と子どもが残されました。さらにその後土地をだまし取られ、貧しい生活をしてきたそうです。

今なおニュースに映し出される廃墟となつた街や命を落とす多くの人々。無意味な戦争を二度と繰り返してはならないと改めて感じます。

（南浅間 N）